

No	事業名	交付金充当額	事業の目的又は効果
1	避難所等の感染症対策	32,047,000円	災害発生により避難所生活を送る方々の中で新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、非接触式の検温器を購入する。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスク需要が全国的に高まり市場での流通も限られている状況である中、区職員、避難所用としてマスクを購入する。
2	中小企業融資利子補給	213,927,000円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている中小企業・小規模事業者の資金繰りを支援する。
3	新型インフルエンザ等感染症対策	71,156,000円	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、入手困難になった衛生資材を医療現場に提供することで職員を感染から守り医療機関の体制を整える。
4	地域医療連携の推進(新型コロナウイルス感染症入院患者受入支援事業)	104,800,000円	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた病院に対して、医療提供体制を維持し、医療関係者が安心して従事できるよう支援する。
5	保育施設等の臨時休園等に対する支援事業	48,745,000円	施設と保護者との間で直接契約が結ばれている、定期利用保育事業実施施設や東京都認証保育所等において、登園を自粛した保護者に対して積極的に保育料の負担軽減を行えるよう、保育施設等への助成を行う。
6	GIGAスクール構想への支援事業	589,125,000円	児童生徒へ1人1台のタブレット端末を配備することで新しい学び及び緊急時のオンライン学習へ対応する。
7	乳幼児予防接種	160,896,000円	インフルエンザワクチン接種費用を助成し接種率を上げ、学校等における感染拡大リスクを低減させ、医療現場の安定した診療体制を確保する。
8	事業補助費(大田区産業振興協会)	14,743,000円	従来から新製品・新技術開発へ助成及び表彰することで、区内企業の製品開発力・技術力の向上を図り、高付加価値の創出や区内企業ネットワーク形成に寄与してきた。新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、更なる支援を行うことで、区内企業の研究開発を後押しする。
9	就学援助	78,412,000円	令和2年度夏季休業日の短縮に伴い、8月分給食費、学用品費を支給する。また、感染症対策の徹底及び熱中症対策として、家庭でマスクや水筒等を準備するため、学用品費を増額して支給する。
10	校内環境衛生設備の整備	109,098,000円	新型コロナウイルス感染予防のため、区立小中学校等のトイレ手洗いの水栓を直接手を触れない非接触型の自動水栓式へ変更する。
11	商店街活性化推進事業(商店会支援)	17,349,000円	地元店舗の利用を促進し、魅力再発見と今後の持続的消費につなげるため、区内商店街が区内店舗における販売促進や販路開拓を推進するための事業に対して支援する。

12	商店街活性化推進事業(プレミアム商品券)	148,090,000円	リモートワークの広まり等、新しい生活様式が定着していくなかで、消費者の購買意欲を高め、商店街で買い物するという地元回帰の流れを促進するため、商店街・地域単位で利用できる「プレミアム商品券」を発行する。また、「成人のつどい」代替事業として、新成人に区内共通商品券を発送する。
13	保健室備品・消耗品等(サーモグラフィ)	15,447,000円	新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、臨時休業としていた区立小・中学校の再開にあたり、感染症防止対策に万全を期すため、児童生徒及び教職員、来校者の健康観察に必要な物品として、全ての小・中学校にサーモグラフィを導入し、安全安心な学校環境を整備する。また発災時の避難所として機能する際に備え、感染対策としてフェイスシールド等を備蓄する。
14	大田区感染拡大防止協力金	189,779,000円	営業時間短縮に協力した「酒類の提供を行う飲食店」及び「カラオケ店」に対して協力金を支給することで、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。 (対象店舗数2,000件及び通知発送等事務費)
15	大田区感染拡大防止協力金	38,200,000円	営業時間短縮に協力した「酒類の提供を行う飲食店」及び「カラオケ店」に対して協力金を支給することで、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。 (対象店舗数400件)
16	多文化共生のネットワークづくり	3,401,000円	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、外国人区民に対する各種支援や相談に円滑に対応できるよう、多言語通訳タブレット端末を、既存の7台に加え新たに18台配備する。
17	奨学金	59,450,000円	新型コロナウイルス感染症の影響から、大学等に在学、進学を予定する生徒は遠隔授業への対応が必要となり、通信費用など新たな経済的負担が生じている。
18	地域医療連携の推進(病床確保支援)	271,102,000円	新型コロナウイルス感染症の感染患者等の入院を受け入れるために病床を確保したが、利用されなかった当該病床について、助成金を交付することにより、患者の受け入れ病床を安定的に確保し、区内の医療提供体制を維持することを目的とする。
19	学校保健特別対策事業費補助金	109,234,000円	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、教室などの清掃、こまめな手洗い・手指消毒の指導等、感染症対策に必要な物品を購入する。また、夏季休業期間の短縮に伴う熱中症対策や学習保障支援のため必要な物品についても購入する。さらに給食再開に向けて納入業者への補助を行う。

20	子ども・子育て支援交付金	16,969,000円	<p>【コロナ対応に係る人件費】 新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、春休み終了日の翌日以降、〈A平日において午前中から開所〉〈B支援の単位を新たに設けて運営〉するための経費を補助する。</p> <p>【コロナ対応に係る利用料減免】 市区町村が新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るために、放課後児童クラブを臨時休業させた場合等の日割り利用料について、市区町村が保護者へ返還した場合等の経費を補助する。</p>
21	学校臨時休業対策費補助金	5,542,000円	学校の臨時休業に伴う給食休止に係る給食費を保護者に対して返還等するための経費を負担し、保護者の負担を軽減する。
22	学習指導サポーター配置事業	5,212,000円	教員に生じている新型コロナウイルス感染症対策に関わる新たな業務の縮減を図り、併せて児童・生徒に感染症対策を定着させるための指導の支援を通じて、学びの保障の実現をサポートする人材として、学習指導サポーターを配置する。
23	新型コロナウイルス感染症及び区立学校の臨時休業に伴う生活保護世帯緊急食糧支援	3,373,000円	新型コロナウイルス感染症の影響により、区立小中学校が臨時休業することで、給食を食べる機会を失ってしまった生活保護受給世帯に対し、白米やレトルト食品等の食品を提供することで経済的な支援を行う。
24	新型コロナウイルス感染拡大に伴う子育て世帯への支援(見守りの拡充・食の確保)	12,228,000円	ひとり親家庭等医療費受給世帯への食の支援を行う。
25	保育事業費	16,280,000円	感染症対策の徹底を図るため、食器洗浄機及び包丁まな板を消毒・滅菌し、保管するための保管庫を購入する。
26	区民の命と生活を守る官学連携プログラム	10,000,000円	喫緊の課題である感染症の問題に、医療の専門知見を有する区内大学と連携して取り組む。区内感染状況把握を通じた政策形成や区民への正しい知識発信、区職員の感染症リテラシー向上、緊急的な感染対策などの実施を通して新たな行財政運営モデルを確立し、73万区民の命と生活を守る。
27	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金	1,156,993,000円	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた区内中小企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成する。
28	中学校修学旅行中止に係るキャンセル料	28,051,000円	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、修学旅行の中止に係るキャンセル料を区が負担することで、保護者の負担軽減を図る。
29	地域医療連携の推進(年末年始発熱外来事業)	4,000,000円	年末年始に新型コロナウイルス感染症発熱外来を実施する病院に対して、その運営に係る経費の一部を補助することにより発熱外来の運営の円滑化の推進と、地域医療体制の確保を目的とする。
合計		3,533,649,000円	